

書籍：「世界を見る目が変わる50の事実」を読んで

何でも当たり前と思いがちな自分の目の鱗の掃除の一助になればと、書籍：「世界を見る目が変わる50の事実」を購読した。

著者はBBCの女性ジャーナリストであり、仕事柄触れる統計数字の背景から見えてくる本当の世界の真実の姿を考えて貰いたいとの願いから出版したよう。

その真実の姿の一部数字を紹介します。

- ・世界の人口の70%以上は電話を使ったことがない。
- ・インドでは4400万人の児童が働かされている。
- ・世界で3人に一人は戦時下に暮らしている。
- ・近年の武力紛争の四分の一は天然資源がらみ。
- ・タイガー・ウッズが帽子をかぶって得るスポンサー料は、一日当たり5万5000ドル。その帽子を作る工場労働者の年収の38年分。
- ・1977年以降、北米の中絶病院では8万件近い暴力事件や騒乱が起きている。
- ・マクドナルドの黄色いアーチがわかる人は88%。キリスト教の十字架はたった54%。
- ・先進国の国民は年間に7キロの食品添加物を食べている。
- ・地雷によって、毎時間一人は死傷している。
- ・米国で、銃を持って登校し退学になる生徒の数は、平均して週に88人。
- ・先進国で最も妊娠率が高いのは、米国と英国の10代。
- ・世界では7人に一人が日々飢えている。
- ・世界の5人に1人は1日1ドル未満で暮らしている。
- ・世界中の紛争地帯で戦う子供兵は30万人。
- ・英国では総選挙の投票者数よりも、テレビ番組でアイドル選別に投票した人のほうが多い。
- ・貧困家庭の子供たちは、富裕家庭の子供たちに比べて、3倍も精神病にかかりやすい。
- ・ロンドンの住民は、監視カメラで一日300回撮影される。
- ・自動車は毎分、二人を殺している。
- ・アメリカ人が捨てるプラスチック・ボトルは一時間に250万本。並べると三週間分で月に達する。

著者本人は、先日のTV番組の中で「こうした事実を前にすると、一人の人間として何ができるだろうかと無力感を抱くかも知れないが、一人一人の小さな力が集まると大きな力になるのでないか。」と問いかけていた。

先に当HP（「雑学BN」の随想等関係（V）P、2006.03.20。「みなさんは、ハチドリ？それとも笑って見てるだけの動物の仲間？」：参照）でも記載した「ハチドリ」の話を思い出しましょう！！

（2006年4月30日 記）